

1 主屋 床板張り

主屋は一部で根太打ちを進めていたが、今月に入って本格的に根太打ちと、床板（荒床）張りに取りかかった。

荒床は杉の6分板で、隙間なくぴっちり張られていた。これは板の表面仕上げがされていないだけで、拭い板敷き並みの施工精度である。

荒床板は保存の程度が良く、もとの位置と同じように張りたてたが、元々の精度が高いために同じ位置に張るのに、なかなか手間がかかった。



2 主屋土間台所部・取合部 中庭縁側の組立

先月に引き続き、中庭の縁側部分の組み上げを行っている。写真は吊束の吊り込み具合を調整している状況。

中庭縁側は解体していない本屋部分に合わせながら建てたため、調整に手間取ったが、今月末には建て込み材の取り付けがすべて完了し、造作を除けば、あとは垂木を打つのみとなった。来月はこの部分の屋根に取りかかっていきたい。



3 主屋 天井の掃除・色づけ

天井各所は雨漏りによって酷く汚れ、塗装の煤弁柄が部分的に流れ出していた。

床板張りが完了したのに続き、天井の掃除と塗装に取りかかっている。天井の汚れは丁寧に水拭きすると、落とすことができたが、問題は雨漏りで塗装が流れたところの色づけである。ここは再塗装を要しない部分の色合いに合わせ、薄目の煤弁柄を用いて、ムラが出ないように注意して進めている。

